

国会闘争速報

2006年11月2日 第13号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

8日に地方公聴会4カ所決定 9日以降、いよいよ採決情勢に

11月1日の衆院特別委で、8日に地方公聴会を開くことが決定されました。宮城、栃木、三重、愛知の4県で開催。政府・与党はこのちすぐにも採決に入りたいとしています。来週末が正念場です。

森元首相がトンデモ発言

「日教組、自治労の壊滅」叫ぶ

元首相・森嘉朗が重大発言をしました。10月30日、産経新聞のインタビューに「日教組、自治労を壊滅できるかどうか」が次の参院選の争点だと語ったのです。安倍政権は「今は教育基本法、その先に憲法改正」を目指しており、戦後なかなかできなかったことをやるための政権だと。しかし「本格的に稼動するのは参院選後だ。私は安倍氏に『やりたいことは半分にしとけ。まずは参院選に勝つこと』と言っている」。そのためにはまず日教組と自治労を壊滅させることが条件と公言しています。「教育改革とは社会構造全体を変えること」とも言っています。

教育改革の狙いが9条改悪と戦争に道を開くことであり、最大の核心は日教組つぶしにあること



がはつきりしました。しかしこれは、教育労働者がここで本當に団結を固めて闘えば、安倍政権はその攻撃を貫けないということなのです。日教組30万、自治労100万の組織労働者が丸ごと戦争協力拒

- #### 衆院採決阻止への行動
- ◎教育労働者有志の国会前リレーハンスト (11月10日まで)
連日 9時～18時
 - ◎日教組の座り込み (同上)
連日 13時～16時
 - ◎東京教組の座り込み (同上)
連日 16時～18時
 - ◎全国連絡会の国会前集会
毎週火曜 18時～19時
 - ◎共謀罪反対の一日行動
毎週火・金 12時～18時
 - ◎反戦共同行動委の国会行動
毎週火・金 12時～18時
-
- ◎11・5全国労働者集会
正午 日比谷野音
 - ◎11・6 3労組の国会行動
 - ◎11・12 全国連絡会の集会
13時 日比谷野音

否の闘いに立ち上がれば、改憲・戦争どころか自民党支配そのものが吹っ飛びます。安倍首相も31日、「自分の任期(最大で2期6年)中に憲法改正を目指したい」と明言しました。今国会闘争を逆に日教組再生、安倍政権打倒のチャンスに変えましょう。

ハンスト12日目 初参加の支援者増える 「大衆運動の力示そう」

12日目になるハンストは被処分者のFさんと支援者1名でやりぬいた。朝9時からシユプレヒコールで座り込みを開始。タクシーから窓をあけて「がんばってください」と声援をくれる女性や、観光バスから大喜びで降りてきて手を振り続ける高校生グループがいる。集会と

16時からの東京教組座り込みでは「これまで培ってきた力をここに集中してあらゆる手段でたたかうべき」「今の国会状況を覆すのはやはり大衆運動しかない」「職場からもつと大勢の人を組織して阻止しよう」との発言が続いた。その通りだ。安倍政権は来週中衆院採決を狙っている。この10日間行動につぐ行動を！ 11・5に大結集し衆院採決を阻止しよう！

労働者は団結すれば勝てる！ 11・5日比谷へ

「教基法改悪阻止！ 沖縄戦を繰り返すな」

沖縄で1500人が県庁前を埋め尽くす

10月31日、沖縄で沖縄教組・高教組を先頭とした労働者1500人が結集して「国に心をしばられないために 教と訴え、教基法改悪に対してまなじり育基本法の改悪を許さない！ 沖縄県集會」が開催されました。北は国頭、南は宮古・八重山まで沖縄県全体を網羅した労働者の参加で戦闘的に勝ち取られました。大浜沖教組委員長は「教基法がかえられたら国家・国益のための戦争が行われ、戦争ができる国民が育成され、愛国

今、この極悪法案を通すために政府はしきりに教職員に対するレッテル張りをしている。生徒が自殺するのは教員が悪い、必修科目をしていないのは教員がちゃんとやらないからだ！ しかし、私たち現場の教員は酷使され、生徒との会話もできないぐらい教員に余裕がない。それを強制し続けてきた文科省こそが糾弾されるべきである！ 私たち、現場の労働者こそが政府から差し向けられる「戦争教育」の強制を絶対に拒否する闘いが求められている。それこそが真の教育現場を作り上げる私たちの仕事だ！ とともに頑張りましょう！



(沖縄高教組委員長、10・31集会で)

ています。県下全高校の旗をたなびかせてデモに出ました。かつての「復帰」闘争を彷彿とさせるような沖縄の労働組合の歴史的決起の開始です。この闘いに連帯し、全国の労働者とともに立ち上がりましょう！

学校が名簿を軍に提出
生徒動員の手先に

第2次大戦末期の沖縄戦では、兵役年齢にも達しない14歳から16歳の少年が、「鉄血勤皇隊」として戦場の最前線に駆り出されました。千数百人が動員され、半数以上が戦死しました。この鉄血勤皇隊の編成に、当時の県や学校当局が深く関わっていたことが最近判明しています（10月29日毎日新聞）。学校が生徒の名簿を軍に提出し、「非常事態となれば直接、軍に編入し戦闘に参加させる」という約束を取り交わしていたのです。「愛国心」教育とは、最後はそこまで行きつく。絶対阻止へ闘おう。

11・5全国労働者総決起集会

日比谷野外音楽堂・正午開会



改憲・戦争と民営化の労働組破壊に立ち向かう労働者の国際的団結を



海外からのアピール

韓国から 民主労総ソウル本部
アメリカから

ILWU (国際港湾倉庫労組)
AMFA (ノースウエスト航空整備士労組)

●連帯の挨拶

佐藤昭夫／高山俊吉／小田原紀雄
「日の丸・君が代」不起立被処分者
国鉄1047名解雇撤回闘争から
職場で闘う仲間から

呼びかけ 全日建運輸連帯労組関西地区生コン支部
全国金属機械港合同
国鉄千葉動力車労働組合